



日本共産党 市議会報告



2013年10月21日 第1264号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心 住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp



老朽化・放射能汚染対策 住民の意見を尊重した改善対策を



日本共産党は、9月議会の一般質問で、老朽化して放射能汚染も心配な、公園のベンチや遊具の改善を求めました。

利用者の声を生かした 公園づくりを

浦安市内には大小合わせて121の公園と16の緑地・緑道がありますが、設置して20年以上たった公園が半数以上になっています。

老朽化した公園を全面改修して「明るく開放的になり利用しやすくなった」と北栄児童公園は好評です。

ところが、「富岡中央公園の長滑り台が撤去されたがどうしてなのか」と利用されている子どものお母さんから問い合わせをいただきました。夏休み明けに実家から帰ると無くなっていたというのです。

市は老朽化していたので計画的に撤去したという説明ですが、海楽公園のように、地域住民とワークショップを行い公園整備をすすめる必要があります。

経年劣化した公園施設は 早急に改善を

これまで市は、公園の施設

の破損や劣化の状況を、①年1回専門業者によるベンチや照明など含めた点検、②週1〜3回のトイレ清掃の作業員による点検、③利用者からの通報などにより把握して改修しています。経年劣化を防ぐための定期的なメンテナンスなどはされてきませんでした。

日本共産党浦安市議団は、公園の放射線量測定を行っているお母さん方と公園を訪問していますが、背板や座板が1本取れていたり、苔生したり、ささくれているベンチや遊具があり、改善するよう市へ求めてきました。

木製ベンチは
利用頻度が高いほど
長持ちする



腐朽が進んだベンチは
座る人もいなくなり
さらに腐朽する

日本共産党が議会でも求めたきた公共施設の長寿命化対策は、公園施設についても今年度中に「長寿命化計画」が策定される予定です。

これまで行われてきた、壊れたら直す「事後保全型管理」

から、劣化や損傷を未然に防ぐための補修改修を行う「予防保全型管理」を計画に取り入れるために、公園施設の「健全度調査」が行われることが日本共産党の質問から明らかになりました。

低線量被曝を無くす 取り組みが必要

日本共産党浦安市議団は、お母さん方と公園の測定を続け、苔生し、ささくれている老朽化した木のベンチは、周辺よりも空間線量が高い数値となることを確認しています。

更に、γ(ガンマ)線だけでなく、β(ベータ)線が検出されることもあります。

公園は、乳幼児から高齢者まで幅の広い年齢層が利用していますが、乳幼児は手にした物を口に入れることがありますので、外部被ばくだけでなく、内部被ばくも心配です。

放射性物質が定着している遊具やベンチは除染や撤去などの安全対策が必要です。

しかし、市は「公園に長時間いるとは考えられないため、遊具を撤去することは現状の中では考えていない」とし、松崎市長も「都市環境部長の答弁通り」の考えであることが明らかになりました。

